

特定非営利活動法人 北海道バーバリアンズラグビーフットボールクラブ

設立趣旨書

時代は今、大きく変わろうとしている。21世紀を直前に控え、ラグビーをはじめ、国内のスポーツをとりまく環境は否応なしに変化への対応を迫られている。子供の減少に伴う高校をはじめとした学校チームの衰退、国際的なプロ化の波と不況に伴うプレー環境の悪化に直面する企業チーム。これまで学校と企業が両輪となって主役を担ってきた国内ラグビー界は、新たな時代の波にさらされている。そうした中で学校や企業の枠を超えた、地域と結び付いたクラブが来るべき新しい時代のスポーツの担い手として存在感、重要性を増している。

北海道バーバリアンズは高度経済成長が終えんを迎え、国民意識が多様化に向かう1975年に北海道小樽市に産声を上げた。活動の拠点を小樽から札幌に移し、名称をボーミッツ、北海道バーバリアンズと変えたが、発足以来、年齢、国籍、職業、性別を問わず、ラグビーをこよなく愛する人々が集うクラブとして活動を続けている。二十年を超える歩みのなかでクラブに所属したメンバーはゆうに百人を超え、十代から五十代までのメンバーが毎週日曜日の試合に参加、共に汗を流している。またメンバーは日本人はじめニュージーランド、オーストラリア、イングランド、アイルランド、米国、カナダ、ザンビアなど世界各国から加わり、国境を超えた友情の輪を広げている。

時代は少子化による学校チームの先細り、先行き不透明な企業チームの動向を見据え、来るべき21世紀は子供から大人までが地域のよりどころとして集う地域クラブ組織の発展が新たな時代を切り開く次代の主役となることは確実だ。その一方、地域クラブの発展を目指す我々にとっても社会的に認知された団体として公共施設のグラウンド管理などを担える主体として組織運営の確立、強化は急務の課題となっている。職業、年齢、国籍、性別を問わない開かれたクラブとして、北海道バーバリアンズラグビーフットボールクラブは「一人は万人のため、万人は一人のため」とするラグビー精神、競技の普及に務め、ラグビーを愛する仲間の親睦の場として活動を進めるため、特定非営利活動法人として新たな一歩を踏み出すことにした。

「特定非営利活動法人 北海道ラグビーフットボールクラブ」は、ラグビー競技の進歩・普及を目的とし、ラグビー公式大会への参加、練習及び対外試合の実施と親睦・交流、会誌その他の刊行物の発行、国際交流、情報交換、ラグビーを基軸とした地域スポーツの振興、発展に寄与する活動を行うため設立します。

1999年1月30日

特定非営利活動法人北海道バーバリアンズラグビーフットボールクラブ代表 秋野実